

授業計画書 (シラバス)

教科名	コールドワークI	曜日 時間	火曜日 9:10~15:50	担当教員名	イーリ・スヒー
-----	----------	----------	-------------------	-------	---------

		前期指導案		後期指導案	
(年間 2回 4授 業日)	4月	14 21 28		10月	6 13 20 27
	5月	12 19 26		11月	10 17 24
	6月	2 16 23 30		12月	1 8 15 22
	7月	7 14		1月	12
	9月			2月	
方授 法業	( 講義 ・ (実技) )			( 講義 ・ (実技) )	
授 業 内 容	<p>A. 板ガラスに様々な模様や形のカットを施す</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイドライン、下書きを書く</li> <li>2. 模様のカット</li> <li>3. 表面加工 - カットした部分の研磨</li> <li>4. 台座の作成</li> <li>5. 作品のクオリティー調整</li> </ol> <p><b>テーマ : BREAKING POINT (限界点)</b></p> <p>B. 瓶から飲用グラスの制作</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大型切断機でのカット</li> <li>2. 平盤での研磨</li> <li>3. 瓶底の研磨</li> <li>6. ガイドライン、下書きを書く (割り出し器の使い方)</li> </ol> <p>C. 7x7x7cmのガラスキューブの制作-平ら出し</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大型切断機でのカット</li> <li>2. 平盤での研磨</li> <li>3. 角のカット、面取り</li> <li>4. 仕上げ</li> <li>5. 研磨</li> </ol> <p>D. ガラスの接着</p> <p>必要なもの: 瓶5~10本、約200x200x5mmの板ガラス5~10枚、ホットショップ で作成したキューブ</p>			<p>A.</p> <p><b>テーマ : INCORRECTNESS (不正確さ)</b></p> <p>課題: カット模様を施すまたは吹きガラス作品の形を変える 着想: それぞれの許容範囲の限界を見つける</p> <p>基本的な制作手順:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 吹きガラスでシンプルな形の作品制作、または任意のガラスを使う</li> <li>2. 好きなコールドの技法を使いカットや研磨を施す</li> </ol> <p>B.</p> <p>ガラスキューブの装飾</p> <p>前期で制作したキューブの1~3面に、今まで習得した技法を生かしたシンプルな装飾を施す</p> <p>ウォーターサンダー機の使用法</p>	
到 達 目 標	ガラスの特性の理解。コールドガラスの基礎技術を学ぶ。ガラスの安全な扱い方を学ぶ。			コールド技術の向上と発展に注力する。より高いレベルの作品の質と制作意図を追求する。	
成 績 準 評 価	オリジナリティー、課題制作過程におけるコミュニケーション、作品の精度と品質の追求、忍耐力、時間管理			オリジナリティー、課題制作過程におけるコミュニケーション、作品の精度と品質の追求、忍耐力、時間管理	
事 留 意 項	各作業ステップを丁寧に実行し、相談する。			各作業ステップを丁寧に実行し、相談する。	